

〈概要〉

平成30（2018）年は、当財団が新潟市に移管されて20年を迎える。本年度は、当館が新潟市の文化的観光拠点施設としての役割を果たすべく、より充実した事業を全国に発信し取り組んでいきたい。

夏の特別展は、東京新宿にある中村屋サロン美術館との所蔵作品交換展として開く。当館が中村屋サロンの芸術家をテーマに作品を展示するのは約30年ぶりとなる。中村屋サロン美術館は、八一と深い関わりがあった食品会社中村屋が平成26年に創設した。収蔵品は明治末から大正時代にかけて創業者の相馬愛蔵・黒光夫妻のもとに集った芸術家や文化人たちの作品資料が中心となっている。本展覧会ではその芸術家に焦点を当て、八一の書画作品をはじめ、彫刻家の荻原守衛、戸張弧雁、中原悌二郎、画家の中村彝らの作品などを展示し、「中村屋サロン」の芸術を紹介する。

春の企画展では、文人八一の芸術世界とその魅力を、八一の書画と八一と交流のあった新潟の文人の作品とで紹介する。秋は、八一が憧れた大和路の仏や風景をテーマに、八一の短歌とともに仏像写真家で奈良飛鳥園前社長・故小川光三氏の写真も合わせて展示する。冬の企画展は104歳の今も活躍する美術家篠田桃紅氏の墨象作品と八一の書作品とのコラボ展とする。篠田氏は八一とも交流があった人で、八一を敬愛している。併せて第12回写真コンテスト入賞入選作品展を開催する。

普及活動では、①展覧会関連イベントの充実化（体験講座の計画）②ミュージアムグッズの販売促進③八一往復書簡集「雁魚来往」第6集の刊行（相馬家〈愛蔵・黒光夫妻と長男安雄〉と小泉三一郎ら中村屋関係者、増村朴齋、山田直ら有恒学舎教員関係者）④写真コンテスト全国巡回展⑤京都・東寺歌碑除幕式⑥京都、奈良との交流会の定期化などを計画している。

新潟市名誉市民・會津八一の幅広い業績を伝えていくためにも、広い世代に興味関心を抱かせるような視点で企画を展開していきたい。

〈事業計画の内容〉

(ア)展覧会事業 開館日数 269日

分類	展覧会名（仮称）	会期	内容
1 企画展	文人と詩書画一致のモダニズム	4月10日（火） ～6月17日（日） 60日間	本展は「文人」をテーマに、新潟における文人の系譜を踏まえて、八一の文人的芸術世界とその魅力を紹介。また、文人の系譜を継ぐ人物として、本年生誕125年を迎える俳人で医師の中田みづほなど、八一と交流のあった人物にも焦点を当てる。
2 特別展	中村屋サロンと會津八一 ～サロンにつどったアーティストたち～	6月28日（木） ～9月2日（日） 58日間	中村屋サロン美術館の所蔵品を中心とした交換展。八一は大正から昭和にかけて新宿中村屋の創業者相馬愛蔵・黒光夫妻と深い関わりがあった。展覧会では、中村屋所蔵の八一の墨蹟の名品、中村屋に集った芸術家の秀作などを展示し、「中村屋サロン」の芸術を紹介する。
3 企画展	あをによし・やまとしうるはし ～奈良大和路の美 写真家・小川光三の仕事と飛鳥園	9月13日（木） ～12月9日（日） 76日間	奈良大和路との出会いにより、八一は奈良の美術や風景に感動し、短歌や書制作、美術史研究の道へと進んだ。展覧会では、八一があこがれた奈良大和路の魅力を、株式会社飛鳥園の写真家、故小川光三氏の作品と併せて紹介する。
4 企画展	篠田桃紅生誕105年記念 會津八一と篠田桃紅 ～孤高の書人たち～ 同時開催 第12回會津八一の歌を映す写真コンテスト入賞入選作品展	12月20日（木） ～平成31年 3月24日（日） 75日間	墨象作家として活動中の篠田桃紅氏は、八一の描く雁來紅図の墨色の変化に魅了された。自身のエッセーでも八一の奈良歌の書を紹介している。展覧会では篠田氏が敬愛する八一書作品や書簡と篠田氏の作品を展示。併せて第12回写真コンテスト入賞入選作品を展示する。

展示替えのための休館日	6/18～27	11日間
	9/3～12	10日間
	12/10～19	10日間
作品解説会	企画展 期間中	月2回（第2、4日曜日）午前11時
	特別展 期間中	毎週日曜日 午前11時

(イ) イベント ※交渉予定も含む

<講演会・体験講座>

八一祭記念文芸講演会 講師：砂原秀輝師（東寺執事長）を予定
演題：「東寺の歴史」（仮題）
日時：平成30年7月31日（火）または8月1日（水）午後2時～3時半
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：250名

特別展記念講演会① 講師：原田平作氏（愛媛県美術館名誉館長、大阪大学名誉教授）
演題：「近代日本美術史と中村屋サロンに集った芸術家たち」
日時：平成30年7月11日（水）午後2時～
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：150名

特別展記念講演会② 講師：太田美喜子氏（中村屋サロン美術館学芸員）
演題：「中村屋創業の相馬愛蔵・黒光と若き芸術家たち」（仮称）
日時：平成30年6月27日（水）午後から
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：150名

夏・体験講座 東寺歌碑建立記念「たちいれば」の採拓と表装体験
講師：未定
日時：平成30年8月中（特別展期間中）
会場：未定

春・文芸講演会 講師：神林恒道館長
演題：「越後の文人の系譜」（仮称）
日時：平成30年5月11日（金）午後2時～3時半
会場：メディアシップ 日報ホール（予定）
定員：150名

春・体験講座 絵手紙体験講座「にいがたを描く」
講師：谷雅子氏（日本絵手紙協会講師）
日時：平成30年5月11日（金）午前中
会場：メディアシップ 日報ホール（予定）

冬・文芸講演会 講師：酒井忠康氏（世田谷美術館館長）交渉予定
演題：「篠田桃紅の芸術」
日時：平成31年2月下旬あるいは3月上旬（予定）
会場：メディアシップ 日報ホール（予定）
定員：150名

(ウ)ミュージアムグッズの販売促進

(エ)八一往復書簡集「雁魚来往」第6集の刊行

中村屋関係者の相馬愛蔵・黒光夫妻・長男安雄・小泉三一郎ら
有恒学舎の増村朴斎、山田直らと會津八一との往復書簡の読み下し文、註釈、関連資料図版を掲載。

(オ)「會津八一の歌を映す」第12回秋草道人賞写真コンテスト

公募ポスターと応募要項の制作と発送（平成30年4月中）

- ① 審査・結果発表(平成30年12月上旬)
- ② 表彰式：平成31年1月下旬または2月

(カ) 京都・東寺八一歌碑「たちいれば」除幕式

日にち：平成30年3月27日（火）

除幕式および法要、式典 時間：午後2時～3時30分 場所：東寺 洛南会館の前庭
祝賀会 時間：午後4時～5時40分 場所：東寺 洛南会館

(キ) 新潟・京都・奈良交流会

日時：平成30年度中
会場：未定
内容：未定

(ク) 学習講座（会費で充当）

會津八一の歌を読む会 「かまづかの会」
講師：若月忠信氏（文芸評論家）
日時：毎月第1土曜日 午後1時30分～3時
会場：砂丘館

(ケ) 鑑定会 春秋2回を予定

春の部
日時：平成30年4月29日（日・祝）を予定 午後1時30分～3時
会場：會津八一記念館

(コ) アウトリーチ活動

- ・4月に會津八一の作品を所蔵しているところ、あるいは団体鑑賞でよく記念館を利用している学校や公民館などに働きかけ案内を送り、依頼のあるところから実施

(サ) 他団体との関連イベント

- 「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展
 - ・奈良県立図書情報館(奈良県) 4月17日～26日
 - ・中村屋サロン美術館(東京都) 5月19日～7月16日
 - ・いかるがホール(奈良県斑鳩町) 7月21日～8月10日
 - ・三千院(京都) 8月12日～31日(予定)
 - ・旧第四銀行高田支店(新潟県) 9月中
 - ・高松市市民活動センター(香川県) 10月1日～30日
 - ・胎内市産業文化会館(新潟県・中条會津八一会) 11月上旬
- 青幻舎プロモーション主催 「美と信仰の出会い 棟方志功の福光時代」展
平成30年7月7日（土）～8月26日（日）
北海道立釧路美術館へ3点會津八一記念館所蔵品を貸出予定
- 中村屋サロン美術館主催 會津八一記念館所蔵品交換展「會津八一展」
平成30年9月15日（土）～12月9日（日）
會津八一記念館所蔵品を貸出予定